

moshi moshi

2003 Vol.22

お医者さんと上手にコミュニケーションしましょ



「おちんちんが小さい」と心配する電話相談は思いのほか多いのです。先天的に小さいのではないかと、何か病気ではないかと思われるようですが、まずそのようなことはなく、太っていたり、根元に脂肪がたくさんついているために「小さく見えるだけ」のようです。また、赤ちゃんはそもそも包茎なのですが、これも現実に関ったことがないなら様子を見ていてよい場合がほとんどです。

伝染性単核症

主としてEBウイルスの感染で起こる病気。首のリンパ腺が腫れ、熱が続いて扁桃腺が大きくなったり、目が腫れぼったくなったり、発疹が出たりすることもある。少し形が変わったリンパ球（単核の白血球）が増えるのでこの名がある。感染を受けても無症状だったり、症状が出て風邪程度で終わってしまうことが多いし、ほとんどの大人はすでに免疫をもっている。問題になるのは肝機能が低下するなどの合併症。ときに肝機能の低下は1~2か月続くこともあるが、普通は無症状で、1週間くらいでよくなる場合が多い。



X線検査を受けてしまった!

「赤ちゃんなのにX線をとられてしまった。どういう害が出るのか」という相談がときにあるが、この考えはおかしい。生まれたばかりの赤ちゃんでも必要な場合は何10枚ものX線をとる。きわめて多量に被曝すれば問題が出るだろうが、問題が出るほど多量のX線検査を行うことはないし、年齢との関係もない。X線は太陽光の中にあるので、上空を飛ぶ航空機の中では多量のX線を浴びるし、紫外線の強いスキー場なども滑っているだけで何枚もX線をとったと同じことになる。あまり神経質になることはない。

この小冊子の内容は「医師による発育・発達・病気の電話相談」からの内容を抜粋したものです。

03-3219-0797 受付日時 毎週水曜日 14時~17時
(週2回) 毎週金曜日 10時~13時

低身長はメールでも受けつけています

アドレス moshimoshi@pep.ne.jp

ホームページ <http://club.pep.ne.jp/~moshimoshi/>

監修

横田俊一郎先生（横田小児科医院院長）

構成 / 泉美智子 イラスト・レイアウト / いとうやすこ

おちんちんが小さくて包茎もある



**おちんちんが小さいのは異常？
このままにしておくか
ないのでしょうか。
包茎は手術が必要？**

— 2才3か月Kくんのママの電話相談から —

包茎であるうえ、おちんちんが小さいように思えます。

先生 小児科医にみせましたか。

風邪のとき相談しましたら、主に包茎の話になり、真性包茎であれば手術が必要かもしれないと包茎の説明ばかりで、小さいことに関しては、赤ちゃんはこんなものだったので終わりました。

先生 何cmくらいですか。

2cmあるかないか…。

先生 赤ちゃんは根元に脂肪がついているのですが、それをギョツと押しつけているのかどうかですね。下の皮膚が盛り上がりつつあるために外見上おちんちんが小さく見えることはよくあります。おちんちんが小さいと訴えている場合のほとんどはこのように埋もれているものです。太っているお子さんですが。

はい。かなり太っています。

先生 太っている子は埋没していることが多いのです。まわりを押しつけてみて長さを測ってみてください。心配はいらないものと思いますよ。

包茎のほうは手術が必要ですか。

先生 本当に包茎なのかどうかですね。

家でギョツと皮を上げようとすると痛いようでは、できませんが。

先生 血が出るほどやらないと出ないですね。包茎と訴えてきたものの3分の2はこのようにすればむけるので、本物は少ないのです。先が針の穴ほどである、排尿のときに先が風船のようにふくらんでしまい尿が出にくい、腎盂腎炎などの尿路感染症を繰り返すといった場合には手術が必要ですが、何も困ったことがないなら、すぐ手術する必要はないでしょう。また最近では、包茎は先端に軟膏をつけて少しずつむいていくと治ってくるという報告もあり、実際にやってみるとうまくいくことも少なくありません。

12才1か月で134cm

最近成長率が落ちてきているので心配

発育達

低身長

7か月で
首がグラグラ

寝返りもしません
7か月で首がぐらぐら

Q いまは -1SDと -2SDの間ですが、
どんどん成長率が落ちてきています。
まだ子どもっぽく、母親の私と入浴する
くらいでオケテかとも思いますか。

A 成長曲線を見るかぎり、いちばん考えられるのはオケテ
ということ。母親といまだに入浴しているのもオケテだから
でしょう。単にオケテであれば、このまま待っていれば必ず
追いつき、平均身長くらいにはいけるように思えます。

しかし、これから成長率が落ちる可能性もありますので、
今後 -2SDを下回ったら成長ホルモンの分泌が正常
かどうかを調べておいたほうがいいでしょう。オケテが
きつい子の中に成長ホルモンの分泌が一時的に悪く
なる子がいて、こういう場合は成長ホルモン治療が効果
があることが最近わかってきました。オケテがあまりにきつ
いと高校生になっても陰毛も生えていないなどで修学
旅行に行きたくないなどということにもなりかねません
ので、オケテがきつい場合も治療の対象になる場合も
あります。

Q 7か月なのに首はぐらぐらで、うつぶせて首を
上げているのはやっと1分です。寝返りもできま
せん。手をついてなら10分はすわっていられます。
よく笑うし、声も出しています。ただ、7か月で9.6kg。
かなり太ってはいます。

かかりつけのお医者さんは、歩くのは遅いかも
しれないけれど、必ず歩くだろうし、単に成長がゆっ
くりな子ではないかといわれます。

A 首がぐらぐらすることと、すわっていないとい
うことは違います。多分、体重がおりすぎるために体
力がついていけないということではないですか。い
つもみてもらっているかかりつけの小児科医が「発
達がゆっくりな子」といわれるとのことですが、全く
そのとおりではないかと思います。

大事なことは早いか遅いかではなく、最終的に
きちんとできるかなので、あせらず、いまみてもら
っている小児科医にずっとフォローしてもらっていけ
ばいいのではないのでしょうか。

